

# 第6回 町議会 臨時 会議

令和元年第6回町議会臨時会議が8月23日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。

## 可決された案件

### ■財産の取得について

教育用コンピュータ機器の取得  
について可決されました。

### ■工事請負契約の締結について



## 民間飛行家 佐藤章の生家の蔵

### 佐藤家蔵「飛翔館」がオープン

9月1日、美郷町宿泊交流館ワクス敷地内への移築が完了した佐藤家蔵「飛翔館」の竣工記念セレモニーが開催され、テープカットやギャラリートークなどが行われました。

また、記念行事として行われたアトラクションでは、「秋田県住みます芸人」のさきり亭たん方(月亭八斗)氏が落語を、美郷町仙南民謡同好会の皆さんが三味線や民謡などを、アควア美郷ジャズセッションの皆さんがジャズをそれぞれ披露し、会場に集まった参加者を楽しませました。



■美郷町仙南民謡同好会の皆さん



■さきり亭たん方(月亭八斗)氏



■アควア美郷ジャズセッションの皆さん

## 美郷町健康づくり講座

### 東北女子大学教授による 栄養講演会



■加藤秀夫氏

9月4日、美郷町住民活動センターを会場に栄養講演会が開催され、東北女子大学教授の加藤秀夫氏が「いつ食べる 何を食べるか 食を知る～マスコミでは語れない食のウソ・ホント～」と題して講演しました。

講演では、食と健康に関するさまざまな話題を紹介。がん予防の話題ではドイツとギリシャを比較し、「検診受診率はギリシャが圧倒的に低い、大腸がんでの死亡率はドイツが高い」といった事例に触れ、加藤氏は「がん予防は検診に加え、生活習慣も大事になってくる」と話しました。



## いつまでもお元気で

### 美郷町敬老会

9月14日と15日の両日、美郷町敬老会が千畑・六郷・仙南各地区で行われました。ことしの敬老会には3地区合わせて3,918人の方が招待され、それぞれの会場はたくさんの参加者でにぎわいました。

当日はお祝いの式典のほか、認定こども園の園児たちによる歌と踊りの披露が行われました。また、「毎日を明るく元気に過ごすためのコツ」と題した健康増進に関する講座も開催され、講師の指導のもと、ラジオ体操や手足の運動などで体を動かしました。千畑・六郷地区の講座で講師を務めた佐藤悠子さんは、「運動やストレッチを日々の生活に取り入れて、これからも明るく元気に過ごしていきましょう」と話しました。



## タイ王国との交流

### タイ王国には屋台がいっぱい!

タイ王国の食文化を語るうえで欠かせない言葉が「屋台」です。タイ王国には日本のような「内食文化」はあまり根付いておらず、安価で種類が豊富な屋台料理で食事を済ませることが多いそうです。このような食文化が影響したこともあり、タイ王国の各地には数多くの屋台が立ち並んでいます。

この屋台は観光客の人気も高く、屋台料理の中でも「パイナップルチャーハン」は多くの観光客に食べられているそうです。タイ語では「カオパット・サパロット」と言い、写真映える見た目が特徴です。また、見た目だけではなく、程よい酸味と甘さがクセになるおいしさも人気の理由のようです。



タイ食文化講座で作ったカオパット・サパロット

待ち望んだ季節になりました。今年には特に暑い夏だったので、涼しい秋をこれほど待った年もなかったように思います。そしてこの涼しさ、紅葉を本格化させます。さらにその結果の錦秋、まさに地域ならではの「宝物」です。皆さんで楽しみたいところです。さて、今月は自然のお宝だけでなく、人のお宝もお楽しみですので、8月11日に収録の「出張！なんでも鑑定団in美郷」が、県内では10月19日に放映予定です。きつと楽しい内容です。一方、収録までは苦労もありました。番組制作側から提示された応募目標を達成するため、担当は合

併15周年記念を考え、町民参加が多くなるよう勧誘にがんばるとともに、町もお宝を応募しております。町の応募は、実は目標到達というよりも皆さんにお宝をお披露目したい思いが強かったのですが、結果は残念！でした。どうやら公有財産は評価しにくい面もあるようで、番組を通じたお宝公開とはいきませんでした。しかし町では、町のお宝を皆さんにご覧いただき、美郷に対する誇りを高めてもらいたい、町外の方には美郷への認識を高めてもらいたい、そんな思いをかねてより持つておりましたので、今年

度はそれを実現する二つの企画展を準備しています。その一つが、11月1日から始まる「縄文の造形美と棟方志功展」です。大原美術館名誉館長大原謙一郎氏からご評価いただいた町歴史民俗資料館等の縄文土器を中心に、東京国立博物館所蔵の町内出土土器が里帰り展示として加わります。さらに大原家所有の棟方志功作品がコラボレーション展示されます。ほんと、「いい仕事してますねえ」という言葉をいただきたいくらいの企画です。是非ともこの機会にご覧いただき、創造性、力強さ、類似性などを横軸と縦軸で感じ、考え、それぞれの方の未来に繋げていただきたいと思えます。もう一つは1月中旬から予定している、弥生から現代に至る町収蔵品展です。詳細は近くなつてから広報等でお知らせいたします。いずれも、底流に存在するのは「町民に誇りを、町外に美郷の認識を」の想いです。その強さのせいで、今回の文章には少くしばかり手前味噌が入ってしまいましたが(笑)。どうかご容赦を!

### お宝への期待

COLUMN WINDS

コラム

風

美郷町長

松田知己



佐藤家蔵「飛翔館」竣工記念セレモニーにてあいさつをする松田町長